

## 利益相反自己申告書

申請者(署名) \_\_\_\_\_  
 所 属 \_\_\_\_\_  
 職 位 \_\_\_\_\_  
 署 名 日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

1 本申告書の申請対象者の区分にレ点とその内容を記す。

- 本学会の役員(理事・監事・各種委員会の委員長・副委員長)、当該年度の学術集会長、企画運営委員長
- 職名 \_\_\_\_\_
- 本学会の学術集会等の演者 課題名 \_\_\_\_\_
- 本学会誌の投稿者 課題名 \_\_\_\_\_
- 本学会の倫理・利益相反審査申請者 課題名 \_\_\_\_\_
- 本学会の研究助成申請者 課題名 \_\_\_\_\_

2 申請者は、署名日以前3年間の申請活動・研究等に係る利益相反状況を申告する。

	金額	該当の状況	有の場合、企業名と金額等を記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職、寄付講座所属	1 企業から年間100万円以上のものを記載	(本人) 有 無	
		(家族) 有 無	
② 株の保有と、それから得られる利益	1 企業の年間利益100万円以上、又は当該株式の5%以上保有のものを記載	(本人) 有 無	
		(家族) 有 無	
③ 特許権使用料として支払われた報酬額	1 件につき年間100万円以上のものを記載	(本人) 有 無	
		(家族) 有 無	
④ 会議の出席(発表)や研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当・講演料など	1 企業から年間50万円以上のものを記載	(本人) 有 無	
⑤ パンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料	1 企業から年間50万円以上のものを記載	(本人) 有 無	
⑥ 研究費、助成金など	1 企業から年間100万円以上のものを記載	(本人) 有 無	

⑦ 奨学寄付金（奨励寄付金）など	1 企業から年間100万円以上のものを記載	(本人) 有 無	
⑧ 研究とは無関係な旅行、贈答品など	1 企業から年間5万円以上のものを記載	(本人) 有 無	

注意事項：1 該当の状況欄はどちらかを○で囲む。

2 ①～③の家族とは、申請者の配偶者、一親等の親族、生計を共にする者を言う。